

図書だより

第5号

2020. 1. 10
福島県立只見高等学校
図書部



令和2年始動！！

令和の時代が始まって、初の年越しでした。皆さんはどのように過ごしましたか？皆さんの傍らには本があったでしょうか。今年度は、1、2年生の読書数がかなり少ない傾向にあります。毎回図書だよりでも書くことですが、人が成長する上で読書は大変重要なものです。良好な人間関係を築くためには想像力や思考力が必要になります。相手の気持ちを想像したり、相手の立場になって考えたり、といったことは読書を通して学ぶことができます。また、文章を書く力や読み取る力など、基本的な日本語の能力を身に着けることもできます。読解力や想像力、思考力を身に着けるためには読書が最適です。

読書をしていない人は、「話が通じない人」や「空気が読めない人」になる傾向があると言います。なぜなら、想像力や思考力が乏しいからです。相手のことやその場のことを考えることができないのが主な原因です。これは近年問題になっているSNSの問題にも通じるものです。画面上だから何を書いても良いという考えは間違っています。これを読む人がどのような気持ちになるか、相手だったらどのように考えるか、など様々なことを想像して考えて、正しくSNSを利用する必要があります。

読書は私たちに生きる術を教えてくれます。想像力や思考力、読解力、日本語力など様々な力を身に着けることもできます。令和2年、皆さんはどのような本を読みますか？

新着図書

- 『白銀の墟 玄の月 第一巻～第四巻 十二国記』 小野不由美
- 『物語は人生を救うのか』 千野帽子
- 『Disney 君に会えてよかった』 講談社編
- 『Disney きつと、何もかもうまくいく』 講談社編
- 『危機と人類 上・下』 ジャレド・ダイヤモンド
- 『ナポレオン 全3巻』 佐藤賢一
- 『独ソ戦 絶滅戦争の惨禍』 大木 毅
- 『教育激変 2020年大学入試と学習指導要領大改革のゆくえ』池上彰
- 『海の地政学 覇権をめぐる400年史』 竹田いさみ
- 『なぜ歴史を学ぶのか』 リン・ハント
- 『祝祭と予感』 恩田陸
- 『まぶしい庭へ』 エミリー・ディキンソン
- 『エミリー・ディキンソン家のネズミ』 エリザベス・スパイアーズ
- 『大人になる前に知る性のこと』 加納尚美
- 『大人になる前に知る命のこと』 加納尚美

図書室からのお願い

1月より放課後の図書室の利用制限を解除します。図書部の教員が鍵を閉めるまで利用できるようになります。利用する際は次の決まりを守ってください。

- ①公共施設のマナーを守る。
- ②ストーブを付けたい場合は、図書部の教員（中村、志村、橋本）に申し出る。
- ③誰もいなくなる場合は、消灯、ストーブを消す。